

憲法 9 条を守る一宮市民の会・尾西ニュース

NO.95 2023.5.8

事務局連絡先 一宮市竜屋 5-4-17 中村美代子 090-8157-9341

例会報告

23/3/26

※ 前回ニュースにて講師の都合がつかないとお知らせしましたが、直前に講師の予定が整い、例会学習会を行いました。内容をお知らせします。



「沖縄・南西諸島の今と安保3文書について」

講師 愛知県平和委員会事務局長 矢野創氏

琉球弧のミサイル要塞化—馬毛島から与那国島まで九州と台湾を繋ぐ島々に、自衛隊の陸、海、空軍部隊と米軍の戦闘機、ミサイル、空母の配備、増強が計画されている。

九州が海外戦争の出撃基地に—佐賀にオスプレイ、佐世保に水陸起動団、宮崎に F35B 戦闘機、鹿児島に米軍無人機リーパーの配備が計画されている。

台湾有事で日米共同作戦案—トランプ政権の対中戦略包囲網として、南西諸島に米軍臨時拠点の構築を計画。北海道へのミサイル配備構想では、日本全土が報復の対象に。

安保3文書がめざすもの—2015年の安保法制でも「敵基地攻撃能力」は持たないとしてきたが、今回は「反撃能力=敵基地攻撃能力」を持つ、と「大転換」を行った。安全保障の基本方針、防衛力の水準、5年間の防衛費総額(43兆円)を示し、主要装備の数量を示した。

抑止力の強化が緊張を生み出す—「中国の脅威」を騒ぎ立てることで自らの軍事的強化・拡大の口実にするたくらみは思いのままにならない。(中国外務省報道官 12/16)

実績ある ASEAN の「包み込み」方式—問題ある国も排除しない、東南アジア諸国連合は、年間1,000回の会合で地域の問題を解決。日本を含む17の国々が ASEAN との対話を重ね、アジア地域の平和をつくる動きがある—AOIP(インド太平洋に関する ASEAN アウトルック)の前進を。東南アジア訪問で、岸田首相が AOIP への支持・協力を表明。

<参加者の感想> 今日の映像を見て、すでに戦争体制がつくられていると感じた。

「戦争はいや」という国民の思いをどうやって日本の政治に反映できるか。

<9条の会・尾西例会のお知らせ>

日時 5月14日(日) 午後1時半~4時

場所 尾西生涯学習センター 5階 D会議室

内容 5月3日 憲法記念日に感じたこと、考えたこと

12月の安保3文書成立後初めての憲法記念日を迎えて、「防衛力強化」についての世論調査は「賛成」6割、と報道されました。憲法9条の立場で、話し合いによる国家間の問題解決を求める声を、大きく広げる必要を感じます。

一人一人が、5月3日に感じたこと、考えたことを出し合い、次を考えます。

